

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 10 月 12 日

計画の名称	1 内灘町の憩いの空間の創出、安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）									
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）			交付対象	内灘町					
計画の目標	住民の憩い、スポーツ・レクリエーションの場として内灘町総合公園を緑の中心拠点として位置づけている。公園・緑地のネットワークの核として計画である18.3haに拡張するとともに、県の広域避難地、町の一時避難場所としての防災機能の強化を図ることで、更なる設備の充実及び安らぎのある空間を提供する。（緑の基本計画H10.3策定） 老朽化した公園施設の改築、トイレ施設及び園路等のバリアフリー化により、誰もが利用できるような人にやさしい公園づくりを目指す。また、多様な公園利用における安全性、利便性、快適性を向上させ、より質の高いサービスの提供、利用促進を目指す。									
計画の成果目標（定量的指標）	・総合公園の整備率の向上。（整備率 67% [12.2ha] → 100% [18.3ha]） ・公園施設の健全度把握調査を実施し長寿命化計画に基づき、維持管理費の縮減に努める。（健全度把握調査実施公園 0公園 → 71公園） ・トイレ施設及び園路のバリアフリー化により、誰もが利用できる公園を目指す。（バリアフリー化達成率 42% [のべ39公園] → 43% [のべ40公園]） ・老朽化した公園施設を改築し、安全対策の強化を図る。（施設改築率 21% [15公園] → 30% [21公園]）									
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値									
			当初現況値	中間目標値	最終目標値				備考	
			(H24当初)		(H28末)					
① 総合公園整備率			開設面積 12.2ha	—	18.3ha					
② 屋内避難可能人数			500人	—	1200人					
③ 公園施設の健全度把握調査実施公園数 （公園施設の健全度把握調査を実施し、長寿命化計画策定実施公園数）			0公園	—	71公園					
④ 都市公園におけるバリアフリー化達成率 （園路適合公園数+駐車場適合公園数+便所適合公園数） / （園路設置公園数69+駐車場設置公園数12+便所設置公園数11） × 100（%）			42%	—	43%					
⑤ 都市公園の施設改築率 （改築公園数） / 都市公園数 71			21%	—	30%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,234	A	1,194	B	0	C	40	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.2%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成29年度
内灘町において評価を実施	公表の方法
	内灘町のホームページで公開

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	内灘町	直接	内灘町			都市公園等事業（内灘町総合公園）	総合公園整備 A=6.1ha	内灘町						1,128	
1-A-2	公園	一般	内灘町	直接	内灘町			内灘町都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画（71箇所） 安全・安心対策（向栗崎都市緑地における園路等のバリアフリー化） 長寿命化対策（千鳥台第3公園等6公園における遊戯施設の改築）	内灘町						66	
小計（基幹事業）											1,194						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
1-C-1	利用促進	一般	内灘町	直接	内灘町		都市公園施設機能向上事業	機能向上（15箇所）	内灘町							40	
										合計					40		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1	案内看板の設置等、公園施設の充実を図ることにより来園者に対し利便性、快適性を向上させ、より質の高いサービスの提供、利用促進を目指す。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内灘町総合公園における新たな施設の整備により、防災機能の強化が図られ、内灘町総合公園の災害時における屋内避難可能人数については、最終目標値を達成する結果となり、内灘町の防災機能の向上につながった。</li> <li>・都市公園の老朽化施設の改築・更新、バリアフリー化を重点的に実施したことにより、安全・安心に利用できる公園施設の充実が図られ、安全・安心が確保された公園を町民に提供することが可能になった。</li> </ul>															
II 定量的指標の達成状況	指標①（内灘町総合公園整備率）	最終目標値	18.3 ha	目標値と実績値に差が出た要因	優先順位の高い他の新規事業（小学校建設事業）などを考慮し、町全体事業費の平準化を図った結果、事業が延伸となった。												
		最終実績値	14.5 ha														
	指標②（屋内避難可能人数）	最終目標値	1200 人	目標値と実績値に差が出た要因													
		最終実績値	1200 人														
	指標③（公園施設健全度調査実施公園数）	最終目標値	71 公園	目標値と実績値に差が出た要因	新たに整備した公園の公園施設健全度調査も実施したため、目標値を上回る結果となった。												
		最終実績値	72 公園														
	指標④（都市公園におけるバリアフリー化達成率）	最終目標値	43 %	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、施設のバリアフリー化に取り組んだため、目標値を上回る結果となった。												
		最終実績値	44 %														
	指標⑤（都市公園の施設改築率）	最終目標値	30 %	目標値と実績値に差が出た要因	町単独事業においても、老朽施設の改築に取り組んだため、目標値を上回る結果となった。												
		最終実績値	38 %														
	III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内灘町総合公園において、サッカー場などの施設整備を重点的に実施した結果、利用者数はH28年度末実績値23万人となり、H24年度当初実績値18万人より5万人増加した。</li> </ul>														

## 3. 特記事項（今後の方針等）

内灘町総合公園においては、救援救護活動の前線基地、生活支援物資の集積配送基地となるスペースの不足、屋内避難場所の確保が課題となっている。これらの課題解決として、駐車場や園路広場、体育館の整備をすることにより、広域的な防災拠点としての機能の強化を図る。  
また、老朽化した公園施設の改築、再整備により、誰もが利用できるような人にやさしい公園づくりを推進し、多様な公園利用における安全性、利便性、快適性を向上させ、より質の高いサービスの提供、利用促進を図る。

(参考様式3)

